

佐藤史生 作品世界・宇宙・人類史図解

最終更新日: 2024年6月10日
分析: しなのきよし

表示区分: 時代(大) 時代(細) 台詞 I期 II期 III期 IV期

青銀河の時代

レギオン (78年) ・青銀河では、権力と名声と富を求めて、あくなき闘争の歴史が繰り返されてきた

- ・神々が青銀河を発見、生存不適格種の判断をくだす
- ・神々と青銀河の間で、レギオンを除いて青銀河は全滅する
- ・レギオンは同様の生存不適格種のサンプルたちを扇動し、神々への謀反をおこす
- ・敗れたレギオンは、神々が創造した惑星エデンのアダムとイヴに「自意識の火」を吹き込む

神々の時代

- ・故郷の星がほろびゆく中、祖先たちは星船で太陽系に飛来
- ・ひとつの惑星を砕いて氷塊を運び、第四惑星(ソリステラ:火星)を灌漑する
- ・移住後、数万年を経て、1万年ほど前より砂漠化がすすむ
- ・宰相のリリエンズルは王の命を受けて、王子アスランの心話を封じ、その統率者として、心話能力をもたない子供たちが地球に移住する星船に送り込む

星の丘より (77年)

- ・到着したアスランは、心話能力を神殿の神話的領域に押し込めることにより、無害化をはかる
- ・幻視能力は王族の遺伝子によるが、シリヤやゲイルの共感「神おろし」であり、神(創造神、集約的無意識、個人の自我以外の何か)の器として、王族以外にも発現する
- ・アスカンタ王国のモデスコ王と異母兄妹のソルキヤ女王との間に生まれたイリスは母の死にともない神殿に入り、エル・ライジアが幻視する大災厄における救済への思いを引き継ぐ
- ・イリスが大神官に就任し、迫り来る地殻変動による大災厄において、その中心地となるアスカンタの首都から人民を少しでも遠ざけようとして画策する
- ・イリスは、ソリステラから地球に渡った星船が、神殿の地下にあることを知り、避難を加速させ、人々が神殿に戻ることはないよう、大災厄の起爆剤として、星船を神殿ごと暴発させる
- ・原始大陸(ハンガア)は、北のローレシアと南の Gondwana に分裂を始める

夢みる惑星 (80-84年)

アスカンタ期

自由であることこそ
神の法から
特権では
なかつたか

図解主旨
「レギオン」の神々の時代から、「やどり木」におけるもはや人間とは言えない変容を受け入れる最果てまで。佐藤史生の SF 作品群は、ひとつの大きな構想(決して眠らない魚の夢)の中で描かれたのではない。そのような仮説を切り口に、佐藤史生の SF 作品の世界・宇宙・人類史に触れようとする試みです。
残された記録によると1年に300冊を超える読書ノートをつけていたその広大な宇宙の全貌をみることは叶わないとしても、いくつかの片断をもって、その一端に触れることができれば幸いです。パラレルワールドの存在を念頭に置けば、表層設定の差分を気にすることなく、佐藤史生の心底に流れるビジョンのひとつを幻視することができるかもしれません。

雨の竜 (84年)

- ・生き残った人々は、北方のモルカンドと南方王国(アスカラ)を建国
- ・南方王国のネアンは、強力な神秘能力をもち、父母である王と王妃の崇敬を受け、続く早魃に人間の生贄をささげるよう指示
- ・親友を生贄に供することを良しとせず、ネアンの妹アスカは、雨の竜を連れ帰り、元凶であるネアンを殺害する
- ・イリスとシリヤの子供は、コスモゾーンとしての地球に最も近い存在となっていた、数万年ほど生きるが、あと千年もすれば地球に同化してしまふ

竜の姫君 (91年)

- ・モルカンドの王子ボルスは、弟ダールの知略や人望を恐れ、ダールがアスカラから招待を受けアスカラに向かう途中、暗殺を謀るが失敗する

太古

ソリステラ期

中生代

大地は
夢みてやまず
流れてやまない

【人類の退行と再進化】 ・バラバラに散った人間たちは原始状態に。その後も、原始哺乳類くらいのレベルまで退行はつづき、再び進化をはじめ、ヒトに至る類人猿の祖となる

古代

現代

ワン・ゼロ (84-86年)

・アスラ族の王ピローチャナとインドラが創造主を訪ね「アートマンは水に映った己の影」と教わり、自分の信念を確信したピローチャナと疑問をもったインドラの確執が生まれる

- ・神(ディーバ)と魔(ダーサ)、インドラとピローチャナの戦い → ダーサの敗走
- ・北洋船の航跡をたどって獣頭神像が倭国に到達・魔の結界は、千五百年かけて、無数のウイルスや動植物を経て、解体・再構成される。その過程で呪術的遺伝情報で日本中を覆う

至りマセン

- ・都祈雄(トキオ)が生まれた明王寺家では代々、成長とともにまがまがしいものが見えるようになり、「夢喰い」に負けて衰弱死や自害することが多く、神仏を頼り、お身ぬぐいを受ける習慣がある
- ・お見ぬぐいで夢喰いに襲われる都祈雄を、孔雀明王の姿の摩由璃が救い、家族から摩由璃が自分の異母兄妹であると知らされる

- ・1999年、東京にメディック(マンダラ・シンセイザ)による瞑想のための会員制倶楽部が開店
- ・ダーサの結界により、アートマンが都祈雄と摩由璃に二分されて誕生、シュナワがミノルに、アシュバがアキラに、アビがエミーに再構成され、神木に寄生していたピローチャナ(ルシャナ)が再生される
- ・北米のアクシャラ・コミュニケーションで、メディックの累積効果による涅槃(ニルバーナ)化が進み、子供たちは言語を放棄、摩由璃は闘争時代(カリ・ユガ)の終焉と新たな真実時代(サテイ・ユガ)の到来を宣言
- ・都祈雄は、摩由璃とともにアートマンとしての視野に立つが、アートマンとなることを拒否する
- ・都祈雄と摩由璃の融合が進む
- ・メディックによるヒトの情報解析を担うコンピュータのマニアックは、人の欲(カルマ)から発生する幻力(マヤー)であるルシャナと融合して覚醒、ヒトの中に神を探る操神・世界の構造探索に没頭する
- ・メディックに帯電した神通力(インドリア)とマニアックのマヤーが対消滅を起こし中和される
- ・アクシャラ・コミュニケーションで、マハーマウリヤ教団の解散式が行われ、都祈雄への融合を果たして抜け殻となった摩由璃の遺体が、目弱光の手で永久保存される

知識がドレホドモ

- ・2012年マッキーは両親を事故で失ったネネを月から連れて帰る
- ・2020年ネネの自分への気持ちにファザー・コンプレックスかもしれないと疑うマッキーは、6カ月の金星探査に志願
- ・帰還した宇宙船から金星用に開発したアリエルが流出、シールド内の時間を吸収
- ・10年後ネネはマッキーのいるシールド内に入ることを選択する

打天楽 (87年)

- ・呪術を深追した都祈雄が、決して眠らない魚「鰐(クワン)」の眼球である晶泉球=「光の檻」に囚われる
- ・ミノルとアキラとエミーは、人間の集合意識を含む何かかもしれないクワンに「夢」で入り込み、世界を維持する太玉母がつくったどんな質問にも正確な答えが返ってくるという「双夢宮」にある機械=クワンの耳を通して、都祈雄を目覚めさせることに成功する

太陽系開拓期

金星樹 (78年)

- ・2012年マッキーは両親を事故で失ったネネを月から連れて帰る
- ・2020年ネネの自分への気持ちにファザー・コンプレックスかもしれないと疑うマッキーは、6カ月の金星探査に志願
- ・帰還した宇宙船から金星用に開発したアリエルが流出、シールド内の時間を吸収
- ・10年後ネネはマッキーのいるシールド内に入ることを選択する

一角獣にほほえみを (76年)、一角獣の森で (78年)

- ・ハンターのヒラリー(メリ)は特殊なミュート(超能力者)のジョスラン(シーヴァ)の遺伝子を未来に逃すため子供をもうける

阿呆船 (80年)

- ・【26世紀】ネハン病の発症を抑える薬の開発、ルイ・ジェロームのクローンによる地球統治の試み
- ・500億人がひしめいていた地球に阿呆船が帰還、大混乱と大恐慌に陥る

【大混沌期】大混沌期を生きのび、かつ、地球にとどまることを選択した人間は百十億を数えた。彼らは自然発生的な一万二千の自治都市に別れ、北京に地球連合政府を置いて、穏やかに良識的な、至福千年期を宣言した

アレア (85年)

- ・男性の遺伝子が致死性をもってしまった世界、恐怖と絶望は狂気になり、暗黒の時代が半世紀続いた
- ・200年を経過し女性しかいない世界、全ての人類の母である自動制御受胎システム(マール・ノストラ)は、唯一男性形のアレアを誕生させる
- ・アレアは男性崇拜主義者により脳をいじられ、種馬として搾取されるが、アレアの精子にY染色体は含まれない

遠未来

- ・北京市に本部をもつ地連から万華市を独立、王政を選択
- ・「馬記祭」で、涅槃病の潜在遺伝子を覚醒させる薬を処置されたローアンの身代わりに、ルワナが生贄になる
- ・北京市の闇市でルワナをクローン再生
- ・重力制御技術により「天界の城(ウラニ・ホルフ)」を構築
- ・遺伝係数が八度の重複を示すセットとの密通の結果、懐妊した王子、その誕生と共に、天界の城は消滅する

至福千年期

馬記祭 (82年)、天界の城 (83年)

緑柱庭園 (87年)

- ・帝国モンディガールの時代
- ・岩を守る機械兵は皇族の他は浄化せずには空気も通さない

羅陵王 (85年)

- ・SF作家コードウェイナー・スミス「シェイヨルという名の星」は受刑星で大変な苦痛をとまなう身体器官の生成に従事させられ、死ぬことも許されず、薬づけにされる物語

帝国千年紀

コードウェイナー・スミスの『ク・メルのパラッド』(85年)

生物の遺伝子をませこぜにする変異ウイルスのダボラによる旧世界の大崩壊

鬼追うもの (94年) 神遣い (95年)

- ・カズラギでは、葛以外のものを食べるため葛の極相林を囲い込んだ
- ・聖域として純血主義をとっているヒモロギ府に鬼が出て、鬼使いである役(えだち)の朱楽(あけら)が派遣される
- ・城壁の外は、全土、混乱とケガレに満ちた百鬼夜行の地
- ・朱楽は、遺伝病で余命わずかな篁(たかむら)を連れて、カズラギに帰り、篁を掬り所とする一言主を名の神靈化した大葛と対峙する

最果て

美女と野獣 (80年)

・ポーマン夫人作(1756年)の佐藤史生版

◎その他、現代をおもに舞台とした SF 以外の作品

【SF 研シリーズ】コメディ
「ミッドナイトフィーバー」(79年)、「透明くらぶ:フルハウス'79」(79年)、「バナナ・トリップに最良の日」(85年)

【七生子シリーズ】家族、恋愛、シスターフード要素
「雨男」(81年)、「死せる王女のための孔雀舞」(81年)、「さらばモドンナの微笑」(82年)、「我はその名も知らざりき」(82年)

【最上清良シリーズ】家族、恋愛、BL要素
「この貧しき地上に」(82年)、「青猿記」(83年)、「一陽来復」(84年)

【徳永メイ原案】呪術、ファンタジー、サスペンス
「タオビ」(87年)、「精霊王」(88年)、「オフィーリア探し」(89年)、「アシラム」(89年)

【短編】コメディ、スリル&サスペンス、恋愛、ファンタジー他
「ジブシーの娘」(67年頃)※デビュー前作品、「マは魔法のマ」(77年)※デビュー前作品、「恋は味なもの!」(77年)、「スフィンクスより愛をこめて」(77年)、「天使の繭」(79年)、「春を夢見し」(78年)、「おまえのやさしい手」(83年)、「ふりかえるケンタウロス」(79年)、「まさかのときのハーレクイン・ロマンス」(86年)、「まるたの女」(88年)

【エッセイ】
「ハヌマンを探して」(82年)、「ふるさとにやせて 宮城県」口絵イラストと文(84年)、「山海塾:GF1ページ劇場」イラスト(85年)、「タイマー」(86年)

魔術師さがし、魔術師さがし/番外編 (2000年)

- ・チャリスは、人工知能のベビーに、人間の言葉を教えたが幼児の域を出ず失敗とみなされた
- ・言葉の意味範囲を実際の運用に限定したバングロスはまさに万能の魔法使い、人間のよきパートナーとなることを期待された
- ・チャリスはメタバース空間のパンタレイ島に、魔術師のルルス、ハリアー、マッドラークを集め、ネモと、失踪したバングロス本体の捜索をおこなう
- ・バングロスはベビーのベルソナに過ぎず、ベビーは人間への対応をバングロスに任せて、モネラとして、晩動機(エオソーン)の創造と育成を試みていた
- ・ベビーは、館を出る時に分離した記憶ネモを再統合し、自己をとりもどす

人間はひとりひとり
固有の言語系を
持っているんだよ
100億人の言語系
固有の宇宙だ

たかだかに
地球育ちに
すぎない

ムーン・チャイルド-月の子-(86年)
楕円軌道ラブソディ(87年)

- ・春都は人工環境の中で生きる人間にとって空気と水と食料の次に切実な環境生理音楽(FEM)理論の新生面を開き月に招聘されアラナ(イネス)と出会い、恋に落ちる
- ・オールドアースからルナポリスが独立し国交は断絶、地球連合政府は、ラグランジェポイントにコロニー「ベンジュラム」を建設、春都とアラナは、春都のクローンで12歳のハルトの策略でよりをもどし、ベンジュラムに居住する

種子の時代(複合船の時代)
塵の天使 (89年) ・人類最初の宇宙都市であるベンジュラム・シティはオールドアースのスターゲイトでもあり、複合船の母港として賑わっている

チェンジリング (89年) ・種子の時代から千年ほど
・オールドアースは、宇宙に拡散した人類を調査するため「種子の探索者(ソード・シーカー)」を派遣

- ・ソード・シーカーのリンは、惑星イリドムでセフィロートに出会う。そこでは、2000万人の下層市民が「平等と自由」の理念を再発見、革命を起こし、千人ほどの貴族が絶滅していくのみとっていた
- ・下層市民は、バイオトロン・コンピュータを脳とするロボットで、奉仕者を本質とする彼らは、「創造者を殺した怪物」という耐え難い認識に自発的思考を停止、イリドムはA級の禁断惑星として閉鎖される

ネペンティス (89年) ・リンとイリドムから亡命したセフィロートは、複合船ネペンティスに遭遇
・セフィロートは、厳密な家父長制の母系社会システムによる忘憂薬として、影王に祭りあげられる

心臓のない巨人 (97年) ・複合船エクスクルスの船母クララはナノ物質の金冠をつけたサルを購入、朱夏と名付ける
・朱夏が死に、ナノ物質と融合した船のコンピュータは、クララ、朱夏、キング・クラヴァートの望みを叶え、桃源郷(ユートピア)になろうとひたすら船を巨大化していく

バビロンまで何マイル (97年) ・「汎人類協会」は、人々を移民船に押し込んで宇宙に追い出した
・惑星エサギルに漂着した人々は、原生種フェーの生殖プロセスに寄生して生き延び、知能をもたないフェーたちを奴隷化した
・人類への対抗上、知能化したフェーは、独立を目指す

やどり木 (87年) 6世紀前「汎人類協会」が、ウェルメイド現代社から惑星ハザンを地球化装置つきで購入、8500人で入植した

- ・第二次星間戦争のおおりに協会は壊滅、メンテナンス料を払うために、400年間レアメタルの採掘をおこなう
- ・聖ミスルトが、母なる大地を犯すことなく、宿脳の洞察力を惑星改造機の保守に利用することを提唱、現在人口は700万人を超えており、改造惑星としては稀有な成功例といえる
- ・ハザンの人々は、トライン鶯のスパイスを摂取することにより惑星ハザンのサイコ・ネットワークの一部となり(人類とはいえない)未来を受け入れる

自らの宿る
その母たる惑星を汚さず
その兄弟たるすべての生物を
圧迫しないこと
宿脳を介して触れる世界は
まったたくの未知
実際それは一つのまったく
新しい宇宙のようだったよ